

## 愛媛支部

### 手話サークル訪問

収まるかと思えばまた増える新型コロナウイルスに、なかなか気を抜くことができません。活動の予定を立てることも難しく、同じ県内においても顔を合わせる機会がすっかり減ってしまいました。「大人数での行事は難しくても小人数の集まりならなんとかなるかも？」と思い、サークルの活動の場をお借りして何かできることがないか、機関紙を通じて提案しました。すると、県内各地から次々にお申込が！予想以上の反応に驚きながら、さっそく計画を立てました。



そして、いよいよスタート。学習部・組織部合同で、11月に三つのサークルを訪問してミニ学習会を開きました。それぞれ、聞こえる人、聞こえない人、合わせて約15人が集まってくださいました。テーマは、各サークルの希望に応じて、「サークル・通研・土協会 それぞれの役割」「聞こえない方や手話の仲間から学んだこと」などです。講師の森川美恵子会長の話に、参加者の皆さんはうなずいたり笑ったりと、楽しく学びを深めていました。

# あさいと 結社

### 「防災士」最近耳にしますが 知っていますか？

令和2年度高知県が主催する防災士養成講座が県内4会場で開催されることになり、短期間ではありましたが各団体（聞こえない人や手話関係者）に情報発信しました。聞こえない人の受講希望者がいたので、急遽、県に対して講座に手話通訳をつけて欲しいと要望書（高知県聴覚障害者協会・高知県聴覚障害者情報センター・高知県手話サークル連絡協議会・高知県手話通訳問題研究会の四団体の名前）を提出しました。

年度途中という事もあり、通訳費については予算化されていませんでしたが、私たちの思いが通じ聞こえない人が受講するすべての会場に手話通訳が付くことになりました。

全国には聞こえない防災士もいて活躍しています。今年度は情報発信が短かったので、来年度はより多くの方に発信し、防災知識をつけ防災力を高めていき障害者が安心出来る社会へと活動を広げていきたいと思ひます。

## 高知支部

### 地域での取り組み

## 香川支部

東かがわ市で、今年度初めて手話普及啓発を実施することとなり、香川県聴覚障害者協会とともに香通研も市の事業に協力することになりました。

10月24日（土）25日（日）の2日間、東かがわ市にある『とらまる公園』（総合運動公園）で開催された「とらまる人形カーニバル」に併せて、特設ステージで手話クイズ、また手話ブースでは参加者に聴障疑似体験をしてもらったり、指文字スタンプで名刺作りを一緒に楽しみました。当日は、ブースを訪れた各日先着150人に東かがわ市から「オリジナルマスクケース」が配布されました。ケースの表面にはマスク姿の市のPRキャラクター「てぶくろマン」が描かれ、裏面には指文字50音がデザインされています。手話への理解が深まるようにと、市が協力してくれました。秋晴れの空のもと、もちろん感染防止対策に気を配りながら、久しぶりの行事は大盛況でした。テレビのニュースでも紹介されました。



### 「組織部活動」

10月10日、東組織の「1日学習会」を開催しました。徳島市聴覚障害者会と合同研修として行いました。講師には徳島県防災士会から7人、日本赤十字社救命救急指導員の方に指導をしていただきました。「防災のしおり2020年度版」を使い講義を行った後、「HUG」（避難所運営ゲーム）体験をしました。後半はAEDを使っての救命法を学びました。防災士会からは継続的にかかわりたいと申し出があり、防災士会員から逆に質問があり、ろう者はこんな時はどうしているかと聞いてくれたり、動き方を知らうとしてくれる姿勢がよかったという意見もありました。また、西組織部では「協町・わがまち魅力アップ応援～手話ガイドボランティア養成～」を行っています。他県でも観光手話ガイドが行われていることを参考に、徳島でも聞こえない人と一緒に「うだつの町並み」で社会参加できたらと郷土の文化を守り継承を考えて活動を行っています。



## 徳島支部